

①工場製作型極小規模処理施設の検証項目及び各都市における検証状況

工場製作型極小規模処理施設については、流入水量が計画水量（既設能力）の概ね1/2に達した市町村のデータの一般化の審議を行うこととしていますが、本年度は当該条件を満足する事例がないため、初期対応の一次評価として経過報告するとともに、検証可能な項目（建設コスト、維持管理コスト）については検証を行う。

表1 工場製作型極小規模処理施設の検証項目及び各都市における検証状況

	検証項目(審議事項)							
	1	2	3	4	5	6	7	8
工場製作型極小規模 処理施設種類 および 実証実験参加都市	建設コスト※1	維持管理コスト	建設工期	処理性能	汚泥の性状	その他 法令遵守	生活環境 改善効果	住民参画
	建設コストの 削減効果を確認	維持管理コストへの 影響を確認	工期短縮効果を確認	所要の処理水質が 確保可能かを確認	汚泥処理に問題が 発生していないか を確認	下記法令との整合 を確認 ・悪臭防止法 ・大気汚染防止法 ・騒音規制法 ・その他	技術導入による生活環 境や水系の水質改善に 効果があること を確認	建設と維持管理の 円滑な実施のため、 住民参画に対する 取り組みを確認
接触酸化型	北海道 苫前町	▲	○	▲	▲	▲	▲	○
	北海道 遠軽町	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
膜分離型	北海道 安平町	○	—	○	—	—	—	—
	北海道 標茶町	○	—	○	—	—	—	—
PMBR	岩手県 二戸市	○	▲	○	▲	▲	▲	▲

- 【凡例】
- : 検証済 (設計・施工済、効果検証済、委員会最終報告済み)
  - : 検証済 (設計・施工済、効果検証済、委員会最終報告予定)
  - △ : 検証中 (設計・施工済、効果検証中、次回委員会最終報告予定)
  - ▲ : 検証中 (設計・施工済、効果検証中、今年度委員会最終報告予定なし)
  - : 施工中
  - (黄) : 今回委員会報告予定
  - (灰) : 検証対象項目外
  - (赤) : 追加項目

※1 建設コストおよび建設工期について、同じ接触酸化型であっても、従来との比較対象が  
 ・従来工法 (OD) との比較 (苫前町)  
 ・当初計画 (他の既存の処理場への接続) との比較 (安平町)  
 ・従来工法 (膜分離法) との比較 (標茶町)  
 となるため、比較の基準がいずれも異なる。

## ②クイック配管の検証項目及び検証状況

クイック配管(側溝活用)については岩手県二戸市のみで社会実験を実施しており、本年度最終報告を行い一般化の審議を行う。クイック配管(側溝活用)の検証項目については、昨年度一般化したクイック配管(露出配管・簡易被覆)の検証項目を基本に、以下の項目を削除・追加した。

- ・管きよの材料特性(削除) (U字溝で被覆しており、紫外線による劣化が生じないため、検証項目から除外。)
- ・管接合部の水密性(追加)
- ・管のたわみ(追加)
- ・側溝への影響(追加)

クイック配管(露出配管)については昨年度一般化済みの技術であるが、事例の追加として二戸市での社会実験結果の報告を行う。社会実験結果から改善すべき事項を抽出して、必要に応じて技術利用ガイドの更新を行う。二戸市のクイック配管(露出配管)の検証項目については、寒冷地の特性として以下の項目を追加した。

- ・基礎の凍上による影響(追加)

表2 クイック配管の検証項目および検証状況

クイック配管種類 および 実証実験参画都市	検証項目(審議事項)												
	建設コスト	維持管理コスト	管接合部の水密性	管のたわみ	管きよの材料特性	流下能力(下水の凍結)	水質の変化(下水の腐敗)	建設工期	住民参画による管理経減	景観への影響	生活環境への影響	基礎の凍上による影響	側溝への影響
側溝活用	○	○	△※1	○	※2	△	※3	○	△	※4	※3	△	△
露出配管	○	○			△	△	※3	○	△	△	※3	△	

- 【凡例】
- : 検証済(設計・施工済、効果検証済、委員会最終報告済み)
  - : 検証済(設計・施工済、効果検証済、委員会最終報告予定)
  - △ : 検証中(設計・施工済、効果検証中、次回委員会最終報告予定)
  - ▲ : 検証中(設計・施工済、効果検証中、今年度委員会最終報告予定なし)
  - (黄) : 今回委員会報告予定
  - (灰) : 検証対象項目外
  - (白) : 追加項目

- ※1 冬の検証についてのみ第2回委員会最終報告
- ※2 U字溝で被覆しており、紫外線による劣化が生じないため、検証不要
- ※3 昨年度一般化したクイック配管(露出配管)において、より厳しい条件下で問題が確認されなかったため、検証不要
- ※4 既存の側溝内部に設置しており、景観への影響は極めて小さいため、検証不要